

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年9月30日(2021.9.30)

【公表番号】特表2020-533323(P2020-533323A)

【公表日】令和2年11月19日(2020.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2020-047

【出願番号】特願2020-513904(P2020-513904)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/21 (2006.01)

A 6 1 K 8/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/81

A 6 1 Q 11/00

A 6 1 K 8/21

A 6 1 K 8/02

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月20日(2021.8.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水性口腔ケアフッ化物処置組成物であつて

0.5重量%～4.8重量%の水溶性カチオン性N含有ポリマーと、

薬学的に許容される緩衝剤と、

1.0重量%～2.5重量%のフッ化ナトリウムと、

少なくとも60重量%の水と

を含み、ここで、前記重量%は前記水性組成物の総重量に基づくものである、処置組成物。

【請求項2】

前記水溶性カチオン性N含有ポリマーが、0.6重量%～4.0重量%の量で存在する、請求項1に記載の処置組成物。

【請求項3】

前記水溶性カチオン性N含有ポリマーが、前記処置組成物中に組み込まれる前はカチオン性ではないポリマー前駆体から誘導される、請求項1又は2に記載の処置組成物。

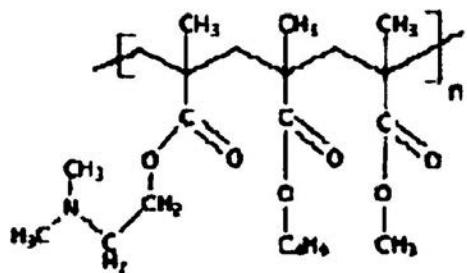
【請求項4】

前記水溶性N含有ポリマー又はポリマー前駆体が、ジメチルアミノエチル側基を有する(メタ)アクリレートコポリマー、ポリエチレンイミン、カチオン変性多糖、及びこれらの組み合わせから選択される、請求項1～3のいずれか一項に記載の処置組成物。

【請求項5】

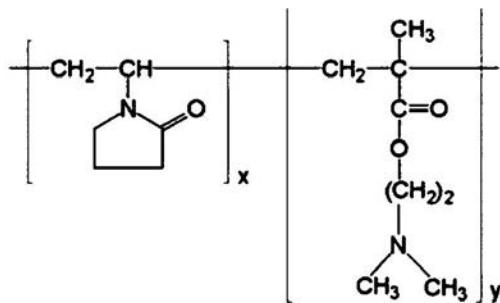
前記水溶性カチオン性N含有ポリマー又はポリマー前駆体が、

【化1】



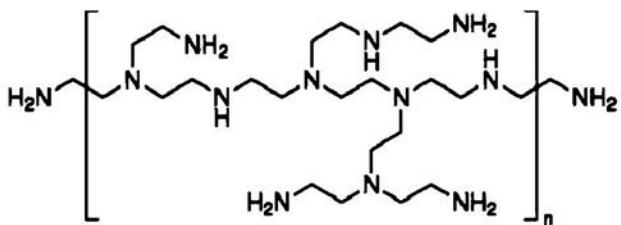
(式中、 $n = 50 \sim 2000$)、

【化2】



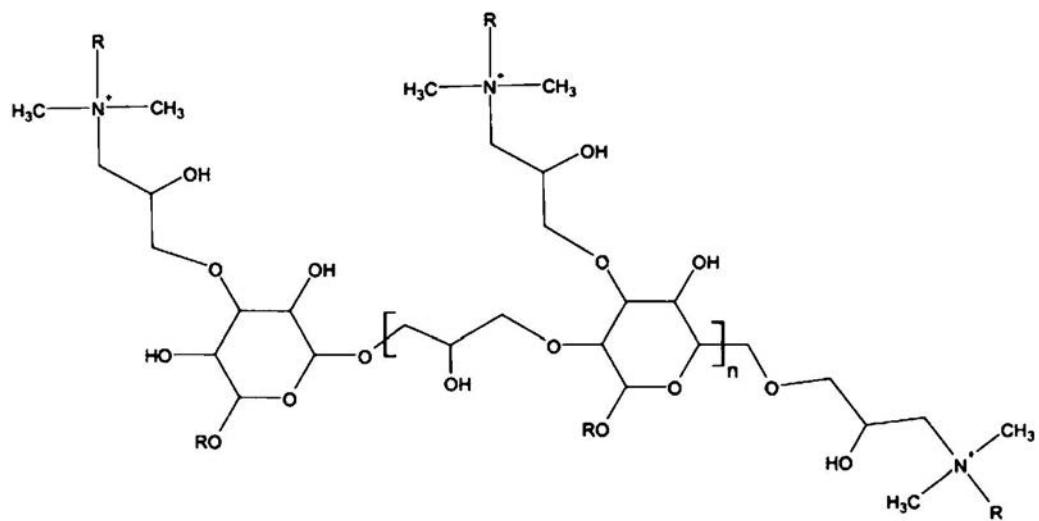
(式中、 $x = 200 \sim 20,000$ 、及び $y = 200 \sim 20,000$)

【化3】



(式中、 $n = 5,000 \sim 1,000,000$)

【化4】



(式中、 $n = 10 \sim 1,000$)、

及び上記のいずれかの組み合わせ

から選択される、請求項4に記載の処置組成物。

【請求項6】

増粘剤を更に含み、前記増粘剤が、前記組成物に1.0/秒の剪断速度で0.5~1.0

0 パスカル秒の粘度を提供するのに十分な量、且つ 2 . 5 重量 % 未満の量で存在する、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の処置組成物。

【請求項 7】

カルシウム塩を更に含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の処置組成物。

【請求項 8】

6 ~ 8 の pH を有する、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の処置組成物。

【請求項 9】

5 重量 % 未満の有機溶媒を含む、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の処置組成物。

【請求項 10】

5 分以内で、フッ化ナトリウムの少なくとも 5 0 % を放出する、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の処置組成物。

【請求項 11】

1 分以内で、フッ化ナトリウムの 9 0 % 以下を放出する、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の処置組成物。

【請求項 12】

10 分以内で、フッ化ナトリウムの 1 0 0 % を放出する、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載の処置組成物。

【請求項 13】

最大 9 6 重量 % の水を含む、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の処置組成物。

【請求項 14】

フッ化物を患者の歯表面に付与する方法であって、請求項 1 ~ 13 のいずれか一項に記載の水性口腔ケアフッ化物処置組成物を前記患者の歯表面に適用することを含む、方法。

【請求項 15】

適用することが、前記処置組成物を歯科用トレイ中に分配することと、その中に前記処置組成物を有する前記トレイを前記患者の歯表面に取り付けることを含み、

前記歯科用トレイが、歯科矯正用アライナ処置トレイを含む、請求項 14 に記載の方法。